



一般社団法人

富山県臨床工学技士会 ニュース



第35号(2015.01)

発行日 平成27年 1月 1日 発行人 (一社)富山県臨床工学技士会 宮野 勝利
事務局 〒930-0194 富山市杉谷2630 富山大学附属病院 内
Mail office@toyama-ce.gr.jp URL www.toyama-ce.gr.jp

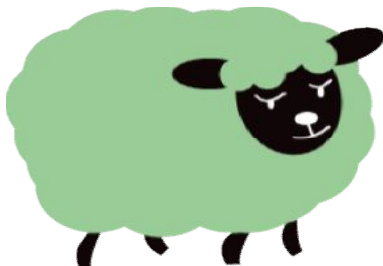
主な記事

- ・新年のご挨拶 (宮野会長)
- ・ビギナーズセミナー、研修会報告
- ・高道副会長が日臨工理事に当選！

新年のご挨拶 会長 宮野 勝利

新年あけましておめでとうございます。平成27年が始まり、皆さまいかがお過ごしでしょうか。3月14日には北陸新幹線が開業し、12両編成定員934名の新型車両は、富山-東京間を最速2時間8分で結ぶ事となり、益々沿線間の交流増加で、観光消費・雇用拡大・コンgres等の拡大が期待できる年が始まりました。

今年11月7日(土)～8日(日)には、第16回中部臨床工学会を富山市民プラザに於いて開催致します。開催テーマは『輝き続ける臨床工学技士』とし、これからの若い世代へ臨床工学技士が職業選択肢の候補になり、臨床工学技士が将来も継続して輝き続ける国家資格であり続ける為に、我々は鑑になり確かなる臨床工学技術の構築にむけてみなさんと一緒に考え見つけ直し、臨床工学を後世へ確実に伝えていくために、この学会を通じてチーム医療の一員として我々がやるべきことを考え、これまで築き上げてきた中部臨床工学技士会の更なる発展に繋がることのできるような大会を目指しております。特別講演・一般演題・学生演題・BPA演題・学術セミナー共催・ポスターセッション・ワークショップ・



企業展示・臨床工学技士体験コーナー・その他の企画を予定しています。

この学会は、平成12年より中部7県の臨床工学技士会が毎年持ち回りにて開催しているもので富山での開催は平成13年(第2回)・平成20年(第9回)に続き3回目になります。(一社)富山県臨床工学技士会一丸となって多数の中部臨工会員の皆様に参加していただける学会になるよう精一杯努力いたす所存です。会員の皆様の絶大なご協力をお願い申し上げます。

さて、(公社)日本臨床工学技士会「第3期内部役員候補者選出選挙」において、中部地区より柴田昌典氏(光寿会リハビリテーション病院)・高道 昭一氏(富山大学附属病院)の2名の内部理事当選者を生み出しました。これにより益々中部及び北陸の日臨工会員の皆様の声を公益社団法人日本臨床工学技士会へ届きやすい環境となりますので、日頃より臨床工学技士の将来を見据えた貴重な会員の皆様のご意見を遠慮なく届けて頂きますようお願い申し上げます。

目次

新年のご挨拶	1
第5回学術大会報告	2
平成26年度定時総会報告	2
第20回ビギナーズセミナー報告	2
第2回TCEポリング大会報告	2
第21回ビギナーズセミナー報告	3
第22回ビギナーズセミナー報告	3
第32回臨床工学セミナー報告	3
第23回ビギナーズセミナー報告	4
第57回臨床工学研修会報告	4
第58回臨床工学研修会報告	4
年末会員交流会報告	4
平成26年度組織運営図	5
第33回臨床工学セミナー報告	6
日臨工内部理事選挙結果	6
事務局だより	6

第15号(平成22年8月発行)から長きに渡り、会員の皆様への重要な情報源の一つであり、(一社)富山県臨床工学技士会の象徴とも成り得る会誌の発行が停滞していることは、誠に遺憾であるとともにその責任を痛感するところであります。会員および賛助会員の皆様に、代表理事として誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。今期には発行を決意し編集部が総力を振り絞っていますのでお届けまで今しばらくお待ちくださいますようお願い申し上げます。

(一社)富山県臨床工学技士会が、これからも一歩ずつ着実に歩み続け、進歩し続けるためには、強固な組織が必要であると考えています。総会及び理事会だけではなく会員とともに一体となって活動できる組織体制を進め、着実に機能していく職能団体となるよう研鑽及び資質の向上を図り、今後とも会員・賛助会員をはじめ関係各位からの叱咤激励も含めましてご指導・ご支援をお願い申し上げます。

今年が皆さまにとりずばらしい年でありますよう祈念申し上げます。